

領域	対象	今年度の具体的目標 (評価項目)	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教育活動	教育課程	1 SAHの提案を基に、生徒の進路希望に、より対応した教育課程になるよう研究をすすめるSAHに協力する。	・生徒の進路希望を実現できる科目配置ができたか。			
		2 SAHの提案を基に、大学入試改革と新学習指導要領を見つめた授業時間や科目の配置について、新しいスタイルを研究しSAHに協力する。	・教育課程編成にあたって、大学入試改革を意識し新学習指導要領について研究を進められたか。			
		3 「主体的・協働的・深い学び」のあり方について、教育課程の面から検討していく。	・教職員の意識を喚起していくことができたか。			
教育活動	進路支援	1 主体的な学習姿勢、および継続的計画的な学習習慣の確立を図る。	・オリエンテーションや面談を通して家庭学習の習慣を確立させる指導ができたか。 ・自主学習を支援するための学習環境の整備ができたか。			
		2 キャリア教育に関するイベントの充実を図る。	・イベントを通じ、自分の将来を深く考える支援ができたか。 ・事前・事後の活動を充実させ、人生観の向上が図れたか。			
		3 希望進路の実現に向け、適切な指導を行う。	・学年通信や進路通信により学年や時期に応じた情報を提供できたか。 ・教科指導を充実させることができたか。 ・小論文や面接の指導を充実させることができたか。			
教育活動	生徒支援	1 学校生活の中で生徒自らが個性の伸長を図りながら、好ましい人間関係を育てる。	・生徒自ら基本的な生活習慣を確立させるべく仕向けることができたか。 ・「いじめ」などがなく、生徒が安心して学校生活を送れるような支援体制作りができたか。 ・情報モラルに関する意識を高めることができたか。			
		2 日常生活で直面するさまざまな課題に対して、主体的に判断して行動する力を養う。	・私物や貴重品の管理を徹底させることができたか。 ・交通安全の意識を高めることができたか。			
		3 自分の行動に責任を持たせ、精神的に成長・発達しようとする過程を支援する。	・生徒会、校風委員会等と連携して、目標の実現をめざすことができたか。 ・保護者や関係機関との連携を密にした支援体制を作ることができたか。 ・「特別な事情のある生徒」に対して、個々の状況に応じて支援することができたか。 ・「特別な事情のある生徒」への対応において、個人情報に配慮した上での職員間の情報共有を図ることができたか。			
教育活動	人権平和	1 基本的な人権に対する認識を深め、主権者としての自覚を高めるとともに、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。	・人権や平和の問題について積極的に考え、行動する力を伸張する機会や場を設けたり、状況に応じて適切に対応することができたか。			
		2 自主的・民主的な集団づくり、協働的な仲間づくり、いじめや差別をなくす関係づくりを日常生活の中で図る。	・ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動などを通じて、集団や仲間について学ぶ機会や体験する場を設けることができたか。			
教育活動	生徒会	1 より良い学校生活を送るためお互いの意見や立場を尊重し合いながら計画を立案し、その計画の実現を目指せるよう支援をする。	・取り組みごとに「基本方針」を作成し、論議を深めて具体的な計画が立てられたか、その内容が会員の願いにかなうとともに生徒会の発展につながるものであったか。			
		2 生徒会執行部、各委員会が連携して活動ができるよう生徒間の協働性を向上させる。	・執行委員会の議論や活動が生徒会全体に共有されているか。 ・各委員会が独自の活動を創造的に展開し生徒間の協働意識が深められたか。			
		3 地域社会へ積極的に発信し、地域に開かれた生徒会活動を目指す。	・りんどう祭を地域に開き、同窓会やPTAとの協働が進んだか。 ・須坂市を中心とした地域の活動に参加できたか。			
教育活動	図書・視聴覚	1 図書館利用の拡大を図り、読書習慣を定着させる。	・図書館利用が増えたか。			
		2 教科・授業、小論文に関する資料の充実を図る。	・利用者の要望に応じることができる資料の充実が図れたか。			
		3 快適な環境を整え、更なる施設の利用促進を図る。	・自主学習などにも、多くの生徒が利用したか。			
		4 視聴覚室及び視聴覚教材の有効活用と各部署との連携を図る。	・利用しやすい環境を整え、視聴覚室が有効に利用されたか。			
教育活動	保健	1 心身の健康管理を図る。	・保健室への来室者への対応が適切であったか、また、コロナ対策を含め、関係者や担当部署との連絡・連携ができていたか。			
			・校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認改善ができたか。			
			・学校保健安全法に則り各種健康診断を計画的に実施し、事後指導が適切であったか。			
		2 環境の管理を図る。	・学校環境衛生検査を適切に行い、その結果を生かしたか。			
			・校内の危険箇所、安全に配慮が必要となる箇所の確認改善ができたか。			
		3 保健指導を充実させる。	・コロナ対策を含め、自身の健康課題に対して、興味関心をもてるような広報活動ができたか。			
・保健委員会等による広報活動を行ったか。 ・保健委員会の活動支援ができたか。						

2023年度 須坂高等学校 学校評価 (部署別)

10須坂高等学校

領域	対象	今年度の具体的目標 (評価項目)	評価の観点	成果と課題	評価	改善策・向上策
教育活動	PTA	1 PTA活動を通し、学校と保護者及び保護者間の情報交換と親睦が深められるようにする。	・PTAの諸会合の案内が会員に周知できたか。 ・PTA活動に関する情報が会員にスムーズに発信できたか。			
		2 PTA研修会が保護者にとって本校生徒の生活や進路指導についての理解と研究を深める機会となるようにする。	・PTA研修会の案内が会員に周知できたか。 ・PTA研修会に多くの保護者が参加したか。 ・PTA研修会の満足度は高かったか。			
学校運営	教務	1 学校が円滑に運営されるように努める。	・校内の諸行事を適切に計画し、運営できたか。 ・欠席連絡の方法、緊急連絡体制について整備できたか。			
		2 校内の情報を外部に発信し、本校への一層の理解を深めてもらう。	・公開授業、体験入学、学校説明会についてPRを行い、多くの中学生・保護者の参加が募れたか。 ・ホームページ、パンフレット、須坂たよりなどによって、本校活動を外部に向けて広く紹介できたか。			
学校運営	情報処理	1 情報処理機器及びネットワーク利用による校務の合理化の推進を図る。	・校内ネットワークを安定的に維持管理するとともに、各種情報機器のトラブルに迅速に対処することができたか。 ・統合型校務支援システムへの移行に向けて、準備を適切に行うことができたか。			
		2 情報処理機器及びネットワークを利用した教育活動の推進を図る。	・授業や各種講演会、研究授業等で、校内のWi-Fi環境や生徒用iPad等の情報機器を活用できたか。 ・デジタル教材や機器の導入・更新を進め、教育活動におけるネットワークの活用を推進できたか。			
		3 情報の管理という面で個人情報や著作権に関して職員や生徒へ周知を図るとともに、ホームページを通じた適切な情報発信をおこなう。	・個人情報や著作権保護、セキュリティ確保の大切さを職員と生徒に伝えたか。 ・学校ホームページについて、各係から依頼された話題を迅速にHPにアップすることができたか。			